

品質検査を"すぐに"、"だれでも"

XSeeker™ 8000



XSeeker 8000 は高出力の X 線発生装置と、高解像度フラットパネル検出器を搭載した卓上型の X 線 CT システムです。卓上型のコンパクトな CT 装置でありながら、160 kV の高い X 線出力を有し、樹脂成型品はもちろんアルミダイカスト部品をはじめとする金属部品も鮮明に観察できます。

また、新開発の制御ソフトウェア XSeeker は、高い操作性と過去最高のスループットを実現しています。

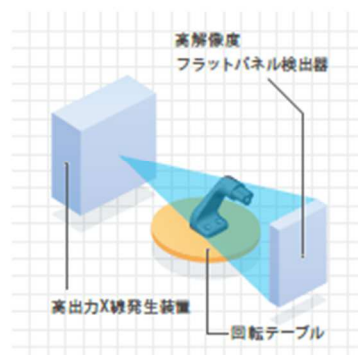
鮮明な画質と高いスループットにより、製品開発、品質評価における詳細な観察から加工現場での検査まで、幅広いシーンでの用途に対応できます。

コンパクトでありながら高出力

クラス最小・最軽量の卓上型CT

同 X 線出力クラス最小・最軽量の卓上型の装置であり、設置する場所を選びません。

国内の一般乗用エレベーターの最小規格 (P-6-CO※JIS A 4301-1983 による) にも搭載可能な装置寸法、質量で装置の搬入経路に困ることもありません。



金属部品を透過する160 kVの高出力

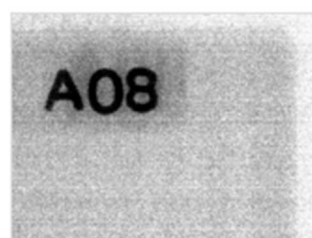
160 kV の X 線出力により X 線が透過しにくい肉厚な樹脂部品や金属部品の観察が可能です。

※下記の数値は参考値です。

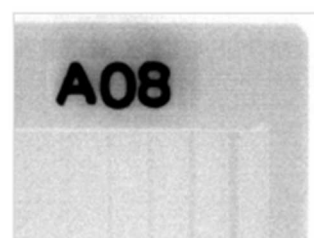
● 透過力比較

材質	100 kVに対する160 kVの透過能力比較
樹脂	1.2倍△
アルミニウム	1.4倍△
鉄	2.0倍△

● 100 mmの アルミニウム透過時の 透過度計画像



100 kV出力装置



XSeeker 8000 (160 kV出力)

上位モデルクラスの画質と機能

最大入力解像度560万画素を活かした高精細撮影

オフセット走査配置により、通常のノーマル走査と比べ横幅が約2倍に拡張され、入力解像度は560万画素相当になります。φ100 mmの広い視野サイズでの高精細撮影を実現します。



微細画素50 μm ピッチのフラットパネル検出器を採用

1画素約50 μm の微細画素を持つフラットパネル検出器を搭載しています。同等クラスの装置では最小の画素ピッチで、細かい構造までシャープに観察できます。

高機能な“オールインワン”ビューアーを標準搭載

以下の3つの機能を有する高機能ビューアーを標準搭載しています。複数の断面画像を並べて表示するMPR表示だけでなく、立体的な表示ができるVR表示と組み合わせることでより直感的な観察が可能になります。

また、MPR画像、VR画像上での計測も可能です。さらにCTデータをメッシュデータ(STL)に変換して出力できます。STLデータに変換することで3D CADでの読み込み、3Dプリンターでの出力など、さまざまな用途で活用できます。



検査用途に最適化された操作性

3ステップ撮影

観察開始までの工程はわずか3ステップ。操作が初めての方でも、すぐにCT撮影を開始できます。
また、ワークセット前の校正作業は不要です。

STEP
01

ワークセット

オリジナルワークセット支援機構を搭載。
ワークセットする手で、ガイド照明により
CT撮影範囲を可視化します。



STEP
02

撮影条件設定

4つの簡単な条件ボタンから、ワンクリックで
選択します。(おまかせ CT: P.8)



STEP
03

撮影

撮影開始ボタンから撮影を開始します。
最短12秒で撮影が可能です。



観察

観察画面にて、観察したい部位が適切に表示されるよう
に、断面画像・VR画像の表示位置、明るさ、コントラストを調整します。

